



2019教育部縣市防災教育人員國際交流與培訓計畫

2019 Disaster Risk Reduction Education Delegation to Japan

出國日期

2019.09.29-10.04

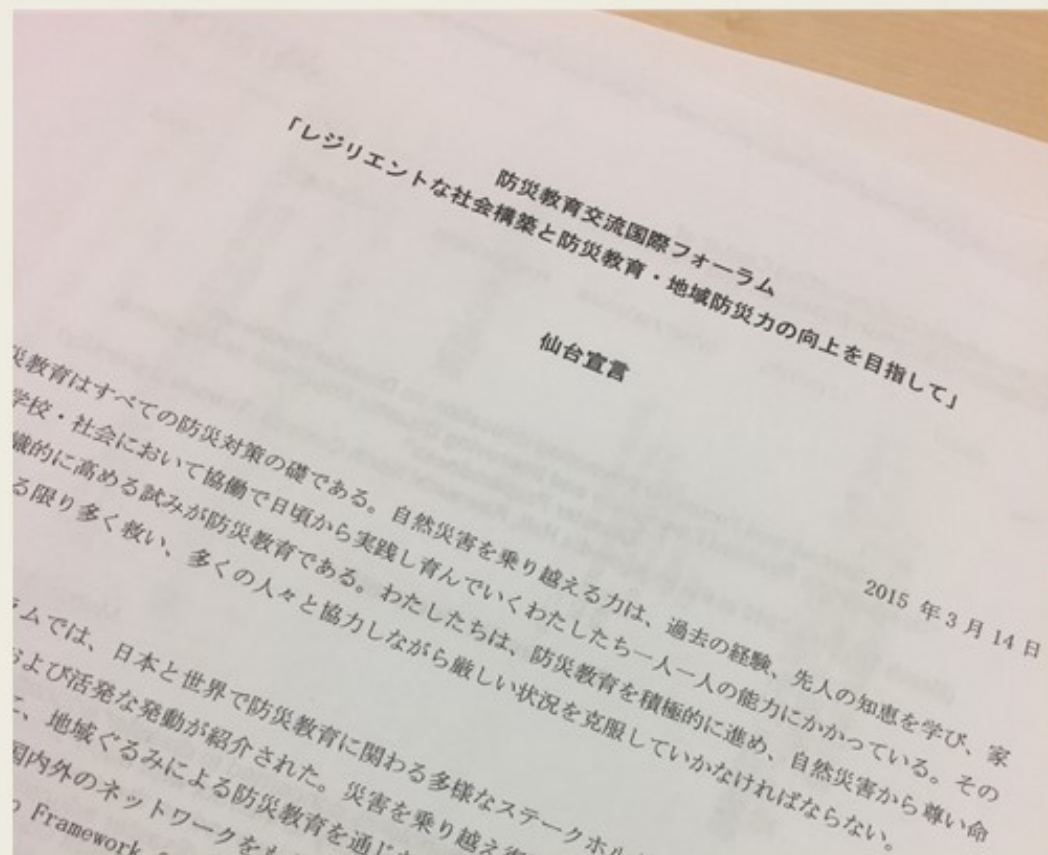


一、前言



防災的上位概念-教育取代教訓，日本宮城縣東北大學即扮演日本防災領頭羊角色，沒有專業的傲慢，只見蹲下來的巨人，彎下腰來用教育的方式做引導，導引各級學校走在防災教育之路。

二、東北大學簡介



東北大學於2012開設災害科學國際研究所，減輕巨災的受災狀況為受災地區的重建和再生做出貢獻。





東北大學災害科學國際研究所下設防災教育國際合作中心，目的在於促進日本和海外防災教育領域的網絡建構、整合跨學科研究和人力資源開發。

三、東北大學和學校的合作模式



(一) 行政支持系統角色

1. 教育廳的甄選與詢問
2. 透過經費的挹注
3. 搭配教授到校輔導親自輔導

『復興防災マップづくり』実践の手引 ②特徴 (3) 学校の実情に応じた「マップづくり」の計画作成 (自校化に向けて)

表1 実践校の取組み概要

学校名 (園 位置)	開始年	対象年	時間数	主な活動内容またはテーマ
★ 鹿妻小学校	2012年度	4年生	約35時間	まちの復興の記録を残し、地域の未来を考える
★ 渡波小学校	2014年度	3年生	約70時間	震災前後の様子に興味関心を持ち、将来を考える
★ 湊小学校	2014年度	4年生	約10時間	避難ルール、経路、場所の確認と10年後のまちを考える
★ 湊中学校	2014年度	全学年	1時間	学区を離れた居住地での防災マップづくり
★ 住吉小学校	2015年度	4年生	約20時間	生きていくわたしたち

(二) 教學策略提供角色

1. 使用防災地圖的製作
2. 防災取代救災的概念落實執行
3. 社會科、藝術科、語文科作跨
際的整合



(三)學習共同體引導角色

1. 引導學生的學習必須透過合作學習不同
2. 年齡層對311大海嘯事件的印象分析數
3. 評量追蹤的收集，很多在於質化的分析

東日本大震災時の児童／生徒の年齢

2011. 3.11	SY2011 23年度	SY2012 24年度	SY2013 25年度	SY2014 26年度	SY2015 27年度	SY2016 28年度	SY2017 29年度
8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	11歳 小学5年生	12歳 小学6年生	13歳 中学1年生		
7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	11歳 小学5年生	12歳 小学6年生		
6歳 幼稚園年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	11歳 小学5年生		
5歳 幼稚園年中	6歳 年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生		
4歳 幼稚園年少	5歳 年中	6歳 年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	
3歳	4歳 幼稚園年少	5歳 幼稚園年中	6歳 幼稚園年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生

(四)情境和環境結合的發想角色

1. 防災地圖即是一種生活工具
2. 從生活素材作起，才能永續發展課程
3. 是一種對環境守護的具體行動
4. 是一種公民素養和自我效能成長的學習歷程

(五) 連動社區的橋樑角色

1. 當學習跨出校園的圍牆
2. 把社區的力量帶進校園
3. 防災教育的最後拼圖在社區



成立石巻市學校安全推進會

東北大學帶領宮城縣發展防災教育，與學校、地區和政府合作組成學校安全推進會，任務分三組

合作模式

1. 防災研修組
2. 防災管理組
3. 防災教育組

學校・地域・行政との連携：石巻市学校安全推進会議

- 東日本大震災を踏まえ、教職員や児童生徒等の防災に対する意識の向上等を図り、安全を確保するため、震災の教訓を踏まえた防災に関する指導方法等の開発・普及等のための支援事業を実施するとともに、地域の防災関係機関との連携体制を構築・強化する。
 - 委員は、市立学校教員、消防、学識、教育支援団体、市長部局、教育委員会事務局、等

ワーキンググループ1 防災研修

- ・ 教職員の災害対応力の向上に向けた研修会の実施、**学校防災フォーラム**※1)の開催
- ・ クロスロード石巻版の作成
- ・ **復興・防災マップの広域化**



ワーキンググループ2 防災管理

- ・ **地域防災連絡会**※2)の設置促進と充実
- ・ 学校防災マニュアルの点検及び改善の指導
- ・ 大川小学校事故検証報告書の提言に関する取り組み状況の調査の実施

※1) 学校防災フォーラムは28年度から年1回、開催。外部にも公開し、市内学校の中学生による避難訓練の公開や、マップ作りの発表、パネル討議として学校と地域、行政との協働による学校防災拡充の方策等を議論

ワーキンググループ3 防災教育

- ・ 防災副読本「未来へつなく」の活用
- ・ 防災合言葉の募集

H29年度の活動

※2) 地域防災連絡会は、それぞれの学校が置かれた地域特性に応じ、地域と学校が一体となって実効性のある学校防災体制を構築するため、市内全学校での設置を目指している。28年度末で48校80.3%に設置。

防災研修組

1. 舉辦工作坊：提高教職員工的災害應對能力
2. 學校防災論壇
3. 十字路口石卷版本的製作
4. 廣泛的重建/防災地圖製作



防災管理組

1. 促進和加強區域防災聯絡會議
2. 學校防災手冊的檢查和改進指南
3. 調查與大川小學事故確認報告相關的舉措狀況等製作

防災教育組

1. 活用防災補充讀本「未來的牽絆」
 2. 防災秘訣招募等推廣防災教育
- 內化防災意識，降低災害傷亡



四、防災復興地圖 計劃所見

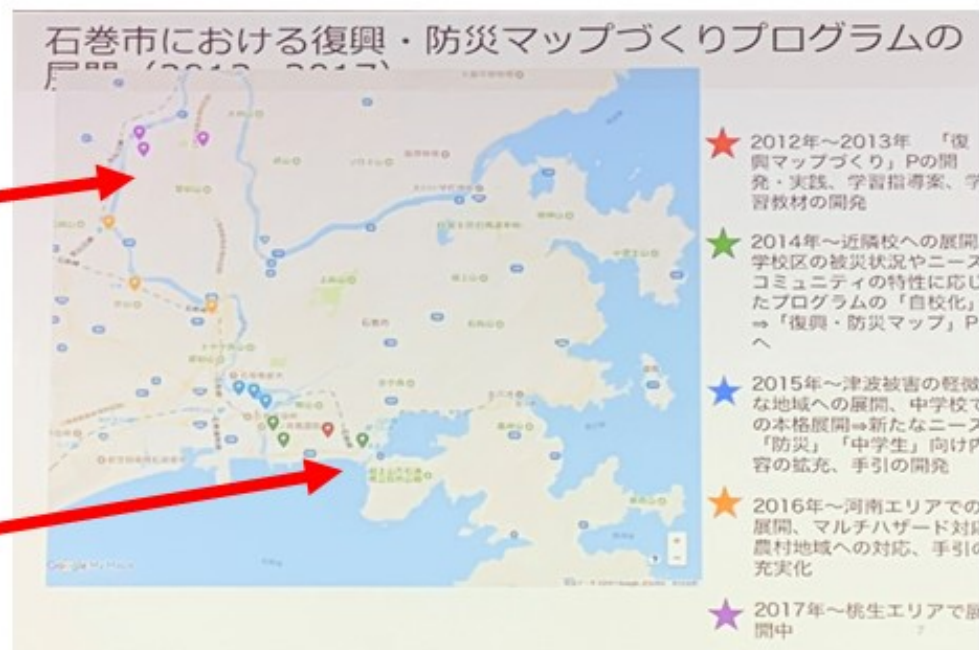


防災復興地圖計畫

1. 受災地區中小學與東北大學合作，計畫主要是在石卷市大力推行。
2. 2012年先有第一所前導學校，慢慢擴散到2019年石卷市已有19所學校（初中5所，小學14所）實施。之後也會推廣到其他市。

這三所雖然311海嘯完全沒有被侵襲，但有北上川洪水威脅。

第一所學校距海岸線1公里



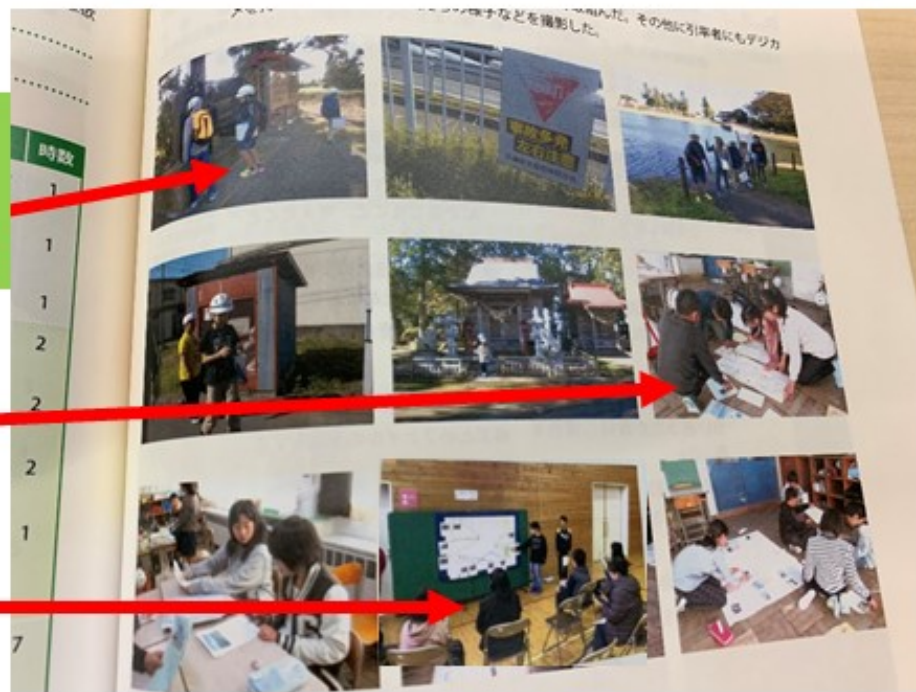
防災復興地圖計畫

1. 四年級開始學習地型圖與防災，到六年級繪製防災地圖。
2. 學生從自己學校及居住地方的地型圖出發 + 實地勘查 + 採訪當地居民的災害經驗，最後彙整作發表報告。

實地勘查
採訪當地居民

小組討論
繪製防災地圖

發表報告



防災復興地圖計畫

1. 授課時會考慮孩子在2011年受災時是幾歲經驗做調整教學。
2. 孩子很多沒有受災經驗，計畫進行難度較高。
3. 但讓孩子知道自己現在住所當時曾發生過什麼事情和災害，是非常重要的。

東日本大震災時の児童／生徒の年齢

2011. 3.11	SY2011 23年度	SY2012 24年度	SY2013 25年度	SY2014 26年度	SY2015 27年度	SY2016 28年度	SY2017 29年度
8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	11歳 小学5年生	12歳 小学6年生	13歳 中学1年生		
7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	11歳 小学5年生	12歳 小学6年生		
6歳 幼稚園年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	11歳 小学5年生		
5歳 幼稚園年中	6歳 年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生		
4歳 幼稚園年少	5歳 年中	6歳 年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生	
3歳	4歳 幼稚園年少	5歳 幼稚園年中	6歳 幼稚園年長	7歳 小学1年生	8歳 小学2年生	9歳 小学3年生	10歳 小学4年生

(一)教育性作為

- 1.善用教育的角度來切入操作作為，
對於一般學校的師長是容易接納
- 2.使用防災地圖等同於創造教學的切入
口，讓各領域都能輕易結合並作推廣
- 3.既是宣導又是課程的兩面

■マップの構成

「マップ」に収められる情報は、地図に限定されません。まち歩きで収集した情報を整理・選択し、模造紙に担当したエリアの地図とともに「マップ」としてまとめていきます。

タイトル

班ごとに「鹿妻をどんなまちにしたいか」話し合っ
て決めたもの

にぎやかな街

石巻市立鹿妻小学校

担当エリアの地図

24年度と25年度の情報を色別
のシールで表している



インタビューカード

インタビューした先の情報を
写真や言葉で記録



普通の模造紙の
1.5倍サイズ



集合写真

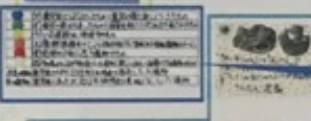
このエリアを担当したメンバー
の写真



鹿妻小学校区の地図



チェックポイントの 分類の説明



情報カード

まち歩きで発見したこと
の説明



個人カード

「震災後に1番うれしかったこと」
「災害の時に役に立ったもの」
「鹿妻をどんなまちにしたいか」
について作成



(二)獨特性內容

- 1.內涵即在各校所位在的社區各顯風貌，能夠收集不同的困難和建議
- 2.有效為每間學校客製化防災課程，用於課程的滾動修正
- 3.學生在學區內不同社區的資料採集，更是研究資料中的第一手資料

(三)永續性設計

1. 孩子在製作的內涵之中會逐漸自省
每年的成果
2. 訪談社區民眾和記錄社區的風土、
事務都會隨著年齡有不同體悟
3. 單一個體孩子自我成長的縱軸乘上
社區的歷年轉變的橫軸，其課程的
成效將無所窮盡

H25 鹿妻小復興マップ

マップタイトル
(概要をどんなまちにしたいかを表現)

エリアマップと発見箇所
(色シール)

個人カード

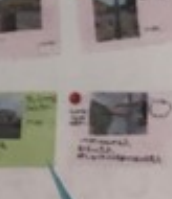
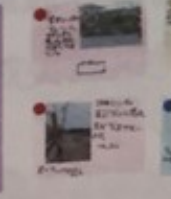
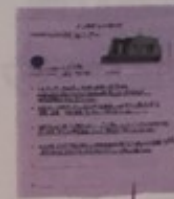
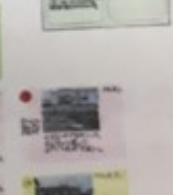
笑顔あふれる鹿妻マップ

平成
24年



石巻市鹿妻小学校生徒会

平成
25年



インタビューカード

情報カード
(発見ポイントの写真、分類、説明)

(四) 普遍性實施

1. 此搭配了防災教材「未來的牽絆」
每一個年齡層孩子都必須要產出其
成效
2. 能夠展現不同的能力位階表現，顯
現不同的學習表現和學習內容

社區、學校有效率的合作

1. 2012. 4. 27內閣制定“學校安全促進計劃”。
2. 各學校從加強防災教育出發，與當地社區和家庭合作，加強全民的安全教育。
3. 學校的經營計畫必須將與地區合作的防災教育放入其中並經學校協議會通過。

北綱島小學校の学校経営計画（重点取組分野）

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kitatsunashima/index.cfm/1,1741,c.html/1741/20180529-184>

横浜市立 北綱島小學校 平成30年度版 中期学校経営方針（平成28～30年度）		
学校概要		
創立	40 周年	学校名 北綱島小 副校長 栗原道 様子 学級数 2 学級制 児童・生徒数 460 人
学級数	一般部 19 特別支援部 4	主な関係校 北綱島特別支援学校・日吉台中学校
重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	学力向上の取組目標を達成し、基礎的な学力を身に付け、学習意欲を高め、主体的に学習に取り組むことができる児童を育てる。	基礎的な学力を身に付けるための学習指導を徹底し、学習意欲を高めるための取組を実施する。また、学習指導の徹底を図るため、授業の質を向上させるための取組を実施する。
豊かな心	豊かな心を育み、自己肯定感を高め、他者への思いやりや協働の意識を育てる。	豊かな心を育むための取組を実施し、自己肯定感を高めるための取組を実施する。また、他者への思いやりや協働の意識を育てるための取組を実施する。
健やかな体	健康な体を育て、体力を高め、生活習慣病の予防意識を育てる。	健康な体を育てるための取組を実施し、体力を高めるための取組を実施する。また、生活習慣病の予防意識を育てるための取組を実施する。
地域連携	地域と連携し、地域資源を活用し、地域貢献の意識を育てる。	地域と連携し、地域資源を活用するための取組を実施し、地域貢献の意識を育てるための取組を実施する。
安全防災教育	安全防災教育を徹底し、防災意識を高め、防災行動力を育てる。	安全防災教育を徹底するための取組を実施し、防災意識を高めるための取組を実施する。また、防災行動力を育てるための取組を実施する。
特別支援教育	特別支援教育を徹底し、全ての児童が学び、成長できる環境を整える。	特別支援教育を徹底するための取組を実施し、全ての児童が学び、成長できる環境を整えるための取組を実施する。
いじめへの対応	いじめの防止と対応を徹底し、いじめのない学校づくりを目指す。	いじめの防止と対応を徹底するための取組を実施し、いじめのない学校づくりを目指すための取組を実施する。
人材育成・組織運営	教職員の資質向上を図り、組織運営を強化し、学校経営の質を向上させる。	教職員の資質向上を図るための取組を実施し、組織運営を強化するための取組を実施する。また、学校経営の質を向上させるための取組を実施する。



社區、學校有效率的合作

1. 學校安排社區、全校家長、孩子一起進行防災演練。
2. 平日消防隊協助訓練家長、居民消火栓使用、沙井廁所的使用和組裝、擔架搬運等培訓。
3. 當日居民一起參與演練，以因應災時的自助與共助。



危險的不是災害，而是輕忽和無知，因為自助而人助才能化解災害的風險，只有把知識生活化，技能反射化，守護家園應從社區到學校每一位公民作起。



2019教育部縣市防災教育人員國際交流與培訓計畫

2019 Disaster Risk Reduction Education Delegation to Japan

簡報結束 敬請指教

